

長崎県幼児教育センターだより



No. 22



2025. 12. 23



幼稚園教諭免許状に関するお問い合わせについて(お願い)

長崎県教育庁働きがい推進室からのお知らせとお願いです。

本室では、幼稚園教諭免許状に関する数多くのお問い合わせをいただいています。特にご質問が多い内容について、下に記載しておりますのでご確認ください。

それ以外のお問い合わせについても、右のフローチャートのとおり、電話によるお問い合わせの前に、まずは、本室のホームページでご確認をお願いします。幼稚園教諭免許について、様々な情報を掲載しております。

長崎県 働きがい推進室 免許 QA



教育職員免許状の申請に関するお問い合わせはこの順で！



まずはホームページで確認

※ホームページには免許の申請に関するほとんどの情報を掲載してあります。

長崎県教育庁 働きがい推進室



お問い合わせフォームで

※どうしてもわからない場合に！
※記録が残し、正確なご回答ができます。



電話でのお問い合わせ

※電話は最終手段！
※電話が集中するとお待たせすることがあり、ご回答に時間を要することになります。

Q:婚姻等により姓や本籍地が変わったが、手続きをして変更しなければならないのか。

A:教員免許に記載されている姓・本籍地が現在と違う場合でも免許の効力に影響はありません。

Q:更新関係の証明書を紛失した。再発行はできるか。
A:再発行はできません。授与証明書の発行申請をしてください。

※なお、長崎県で授与された免許状以外はお取り扱いできません。

架け橋プログラム進んでいますか？

5歳児と小学一年生の架け橋期における円滑な接続をめざし、子どもに関わる大人が立場の違いを越えて自分事として連携・協働することが重要とされています。長崎県こども未来課が佐世保市の認定こども園花高幼稚園に研究を委託しております発表会が2月6日(金)13:30から佐世保市清水地区コミュニティセンター(佐世保市総合教育センター内)にて開催されます。

当日は、花高地区における幼保小連携の実際、交流活動の実践や職員同士の交流についての発表やグループ協議、広島大学の中坪史典先生の講演もあります。

以下のリンク先「研修情報」に案内文書を添付してありますので、ご確認の上、園や小学校の先生方の参加をご検討ください。締切は1月16日(金)となっております。

幼保小連携の推進(長崎県幼児教育センター) | 長崎県

(文責: 高田)

保育所・認定こども園における 「食事の提供に係る業務」実施要領、改訂します！



保育所等の食事提供・食育に携わる方々のマニュアルとして活用いただいている「保育所・認定こども園における「食事の提供に係る業務」実施要領」を今年度改訂します。



各園に献立データ収集のご協力をいただいた「長崎県の保育所における食品群別荷重平均成分表」の更新を中心に、現在改訂作業を進めているところです。

来年2～3月に完成予定です。完成後は各園にお知らせするとともに、県ホームページに掲載中の実施要領を更新しますので、確認をお願いします。

県 HP リンク：[保育所・認定こども園「食事提供」実施要領（改訂3版）](#) | 長崎県

（文責：後田）

保護者に見せる行事 その2

先月号のセンターだよりに「保護者に見せる行事 その1」を載せておりました。今回は「その2」として、子どもにとって無理なく、且つ、子どもの思いや主体性を大事にした行事について考えてみたいと思います。

●早くから種まき

例えば、歌。保育者が「発表会に何を歌わせようかな」と考えて選曲します。そして、子どもたちに発表会で歌う曲を発表し、練習が始まります。それよりも・・・

発表会に向きそうな曲を数曲、季節の歌に混ぜて、早い時期からみんなで歌っておきます。それが、子どもたちにとって「大好きな曲」「すっかり覚えた曲」になってしまえばこっちのものです。発表会が近くなったら、「何の歌をおうちの人に聴いてもらいたい？」と子どもたちに投げかけて、みんなで話し合おうと、だいたい思惑通りの曲名を挙げてくれますよ。親しんだ曲に決まれば、新しく曲を覚える必要がなくなります。

楽器もそうです。普段から楽器遊びで親しんでおくこと、発達に合った楽器と曲を選ぶこと。難しい立派な演奏を目指すより、子どもが楽しんでできる程度の方が、いい合奏になりそうです。劇ごっこもそうです。発表会に使えるような遊びを早くから、十分に楽しんでおくこと、種まきが大切です。

●好きや得意を生かす

出し物はどうやって決めていますか？4,5歳になると子どもと話し合っただけで決められたらとてもいいですね。子どもの好きなことや得意なことの中から、何をおうちの人に見てもらいたいのかいくつか選びます。子どもは自分たちで決めたものは、より張り切ります。したいことが複数挙がったら、うまく組み合わせ、できるだけみんなの意見を取り入れたいですね。保育者には柔軟な発想が求められます。

●子どもと一緒に作る

衣装は子どもの手作りでもいいですね。衣装作りも遊びの一つ。その時間も楽しい。劇で使うものと一緒に作る。保育者は、子どもの作りたいもののイメージが実現できるように材料を準備します。

発表会は「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」の協同性や自立心を育むいい機会です。共通の目的に向かって、自分の力を発揮し、友達と協力してやり遂げ、達成感を味わえる行事にしたいものです。

（センター長 室野）